**（一般社団法人成年後見ネットワーク倉吉定例学習会；H29・7・27）**

**成年後見制度利用促進法及び同基本計画について**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**中部成年後見支援センター所長　　松村　久**

**【成年後見制度の利用の促進に関する法律】**

**平成２８年４月１５日公布**（第1条～第２４条、附則第１・2条）

1. 総則（第1条～第10条）
	1. 目的

・成年後見制度は、財産管理と日常生活等に支障がある者（判断能力の不十分な

者）を**社会全体で支え合い、共生社会（ミットレーベン）の実現に資する**重要

な手段であるにもかかわらず十分に利用されていない。

・利用促進会議及び利用促進委員会の設置

　・**基本理念**を定め、国の責務等を明らかにし、**基本方針等**を定めることにより、

成年後見制度の利用の促進に関する施策を**総合的かつ計画的に推進**する。

* 1. 定義

　第3項　**成年後見等実施機関**

　　・自ら成年後見人等となり、又は成年後見人等若しくはその候補者の育成及び支

援等に関する活動を行う団体をいう。

**第3条　基本理念**

1. **成年後見制度の理念の尊重**　**→　第11条第1項第1号～6号で具体化**
	1. **個人の尊厳とノーマライゼーション**
	2. **自発的意思と意思決定支援（自己決定権）の尊重**
	3. **財産管理に加え、身上監護の重視**
2. **地域の需要に対応した成年後見制度の利用の促進**

**→　第11条第1項第７号～9号で具体化**

* 1. **需要の適切な把握**
	2. **その需要に的確に対応すること**
1. **成年後見制度の利用に関する体制の整備**

　　　　　　　　　　　　　**→　第11条第1項第10・11号で具体化**

**家裁、関係行政機関、地方公共団体、民間団体の相互協力・適切な役割分担**

　第4条　国の責務

　第5条　地方公共団体の責務

　第９条　法制上の措置等

　　　・基本方針に基づく施策の実施に必要な**法制上又は財政上等の措置**

　　　　成年被後見人等の権利に制限等の法制上の措置は施行後３年以内

**第2章　基本方針（第11条）**

**第1項　柱書**

1. **利用者の権利利益の保護に関する国際的動向を踏まえること**

**→　障害者の権利に関する条約第12条2項**

**・「締結国は、障害者が生活のあらゆる側面において他の者と平等に法的能**

**力を共有することを認めること」**

**・「代替的意思決定制度」から「支援付き意思決定制度」への転換**

1. **高齢者、障害者等の福祉に関する施策との有機的な連携を図ること**

**第１号　補佐・補助制度の利用促進**

**第２号　権利制限の見直し**

**第３号　円滑に医療・介護等を受けられるようにするための支援の在り方につい**

**て、後見人等の事務の範囲を含め検討**

**第４号　死後事務について、後見人等の事務の範囲を含め検討**

**第５号　任意後見制度の積極的活用**

**第６号　国民に対する周知・啓発**

**第７号　成年後見制度に係る需要の把握**

**第８号　成年後見人等となる人材の確保**

**第9号　前2号のために、成年後見等実施機関の育成、実施機関が積極的に活用されるための仕組みの整備と活動支援**

**第10号　家裁、関係行政機関、地方公共団体における人的体制の整備等**

**第11号　成年後見地域連携ネットワークの確立**

第3章　**成年後見利用促進基本計画**（第12条）

第4章　成年後見制度利用促進会議（第13・14条）

第5章　成年後見制度利用促進委員会（第15条～第22条）

**第6章　地方公共団体の講ずる措置**（第23・24条）

　　　**第23条　市町村の構ずる措置**

1. **利用促進基本計画の策定に努める。成年後見等実施機関の設立等に係る支援その他の措置**
2. **基本的事項を調査審議させるため条例で合議制の機関（審議会等）を設置するよう努める**

**第24条　都道府県の構ずる措置**

1. **市町村への支援、人材育成**

**【成年後見制度利用促進基本計画】**

**法第１２条第１項に基づき平成２９年３月２４日に定めた。**

**１　成年後見制度利用促進基本計画について**

1. **位置づけ・・・国の計画、市町村は国の計画を勘案して定めるよう努める。**

**（内閣府は、今年度はモデル事業や先進事例の聞き取りを行い、来年度市町村計画**

**のひな型を示すとのこと；6/28の県説明）**

**（２）対象期間　　5か年間（平成29年度～33年度）**

**（３）基本計画の工程表**

**２　成年後見制度利用促進に当たっての基本的な考え方及び目標等**

**（１）基本的な考え方**

**・基本的理念に立ち返り運用の在り方を検討**

**・本人の意思決定支援や身上の保護の重視から個々のケースに応じた柔軟な運用**

**・地域における課題を整理して、体制の整備対応の強化を図る**

**（２）今後の施策の目標等**

　ア）利用者がメリットを実感できる制度・運用への改善

　**イ）権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築**

ウ）不正予防の徹底、安心して制度が利用できる環境の整備

エ）成年被後見人等の権利制限の措置の見直し

**３　成年後見制度の利用の促進に向けて総合的かつ計画的に講ずべき施策**

**（２）権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築**

**＊保健・医療・福祉の連携に加え司法も含めた連携の仕組みの構築を**

**①ネットワークの３つの役割**

**・権利擁護支援の必要な人の発見・支援**

**・早期の段階からの相談・支援体制の整備**

**・意思決定支援・身上保護を重視した制度の運用に資する支援体制の構築**

1. **基本的仕組み**

**・後見人もその一員である「関係機関連携チーム」による個別支援会議等**

**・地域における「協議会」等の体制づくり　　チームを支援する体制の構築**

1. **地域連携ネットワークの中核となる機関**

**・地域における連携・対応強化の推進役としての役割**

1. **地域連携ネットワーク及び中核機関が担うべき具体的機能等**

**＊中核機関が自ら担う業務の範囲は、地域連携ネットワークの関係団体と分担す**

**るなど地域の実情に応じて調整**

**ア）広報機能**

**イ）相談機能**

**ウ）成年後見制度利用促進機能**

**・受任者調整（マッチング）等の支援**

**・親族後見人候補者の支援**

**・市民後見人候補者等の支援**

**・受任者調整（マッチング）**

**・家裁との連携**

**・担い手の育成・活動の促進**

**・市民後見人の研修・育成・活用**

**・法人後見の担い手の育成・活動支援**

**＊日常生活自立支援事業等関連制度からのスムースな移行**

**エ）後見人支援機能**

**・親族後見人や市民後見人等**

**・チーム支援（ケース会議等）　　家裁との連携**

**オ）不正防止効果**

1. **中核機関の設置・運営形態**
2. **設置の区域　　市町村単位を基本に広域もあり**
3. **設置の主体　　市町村又は委託**
4. **運営の主体　　市町村直営又は委託**
5. 設置・運営に向けた関係機関の協力
6. 優先して整備すべき機能等

（３）不正防止の徹底と利用しやすさの調整

**（４）制度の利用促進に向けて取り組むべきその他の事項**

**・任意後見の利用促進**

**・成年後見制度利用促進事業の活用　　寄附を活用した助成制度の創設等**

**・市町村利用促進基本計画の策定**

（５）国、地方公共団体、関係団体等の役割

**①市町村の役割**

**・地域連携ネットワークの中核機関の設置に積極的な役割を果たす**

**・地域連携ネットワーク・中核機関に期待される機能の段階的・計画的整備に**

**向け、市町村計画を定めるよう努める**

**・条例で審議会その他の合議制機関を設置**

　②都道府県　　　③国

　　④関係団体　地域の協議会等への積極的な参加、地域連携ネットワークでの役割

　　　ア）福祉関係者団体　　　　　イ）法律関係者団体

（６）成年被後見人等の医療・介護等に係る意思決定が困難な人への支援等の検討

（７）成年被後見人等の権利制限の措置の見直し

（８）死後事務の範囲等

４　その他

・内閣府の利用促進会議、利用促進員会の廃止（施行日から２年を超えない範囲内）

と厚労省内に利用促進会議及び利用促進専門家会議の設置、関係省庁の協力

**【今後の課題等】**

**１　市町村の役割**

**主体的で積極的な対応を**

1. **中核機関の設置・運営**
2. **地域連携ネットワークの構築**

**（今後の検討事項）**

**・県下三権利擁護支援センターの中核機関としての位置づけ**

* 1. **成年後見ネットワークの設置**

**三士会を中心とした勉強会**

**・成年後見ネットワーク鳥取（Ｈ14）　1市4町**

**・成年後見ネットワーク米子（Ｈ16）　2市6町1村**

**・成年後見ネットワーク倉吉（Ｈ18）　1市4町**

* 1. **鳥取県社会福祉士会の提言（県委託事業；鳥取県の権利擁護支援体制の構築：Ｈ21～23）**

**「福祉後見（権利擁護）支援センターの必要性について」**

* 1. **成年後見ネットワークの法人化と権利擁護支援活動**

**管内市町村からの委託費と県補助金を財源に**

**・東部　アドサポセンター（Ｈ24）→　Ｈ25～**

**・中部　中部成年後見支援センターミットレーベン（Ｈ20）→　Ｈ25～**

**・西部　うえるかむ（Ｈ24）→　Ｈ24～**

1. **地域協議会の設置**
2. **条例で審議会その他の合議制機関を設置**

**２　運営上の課題**

1. **市町村長申立ては適切か**

**2親等内の親族調査**

**虐待事案との関係**

1. **成年後見利用支援事業の活用**

**首長申し立てに限定（4町）**

**要綱と予算化　　高齢と障がい**

1. **市町村社協の役割と支援**

**法人後見への取り組み**

**市民後見人養成・支援**

1. **日常生活自立支援事業との連携**

**県及び市町村社協との協議**

**（５）家裁との連携強化**

**（参考）　需要と供給**

1. **ニーズの増加への対応**

・高齢化の更なる進行、障がい者の権利擁護活動の強化等に伴って、今後一層成年後見制度利用のニーズが高まる。

・親族後見人と第三者後見人の比率

　　親族後見人　８０％以上（平成12年）　→２８．１％（平成28年最高裁統計）

　　高齢者のみの世帯の増加（独居、夫婦）、核家族化

　・障がい者　　　親の高齢化、若年者の問題

**成年後見制度を利用する可能性のある対象者（中部地区）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **市町村名** | **世帯数①** | **総人口②** | **65歳以上③** | **高齢化率④** |
| **倉吉市** | **18,385** | **49,070** | **15,205** | **30.2** |
| **三朝町** | **2,291** |  **6,482** | **2,380** | **34.5** |
| **湯梨浜町** | **5,482**  | **16,557** | **4,968** | **28.6** |
| **琴浦町** | **5,773** | **17,423** | **5,972** | **33.0** |
| **北栄町** | **4,811** | **14,835** | **4,534** | **29.2** |
| **合　計** |  **36,742** |  **104,367** | **33,059** | **30.9** |
| **（Ｈ27国勢調査①②：世帯数増・人口減、H26・10推計③④）** |

* 1. 約5千人

・認知症高齢者　約3,300人（高齢者人口の約1/10、後期高齢者の１/４）

・障がい者（H23・10）　　療育手帳925人、精神保健福祉手帳1,042人

* 1. 成年後見世界会議(H22・10)　　 人口の1％前後・・・約1,000人
	2. 平成26年度鳥取家裁利用者数　約1500人(全県)、中部支部284人

**成年後見制度の利用を真に必要とする人が、利用できているか？**

**・Ｈ28・1～12月　最高裁統計（Ｈ29・3公表）**

**・申立件数34,249件（後見26,836件、保佐5,325件、補助1,297件）**

**・成年後見制度利用者数　約20万人**

**（後見16万人、保佐3万人、補助9千人）**

**・任意後見監督人選任申立件数　791件**

**・申立の動機　預貯金等の管理・解約約2万8千件、身上監護約1万3千件**

**・首長申立て　6,466件（鳥取県45件）**